

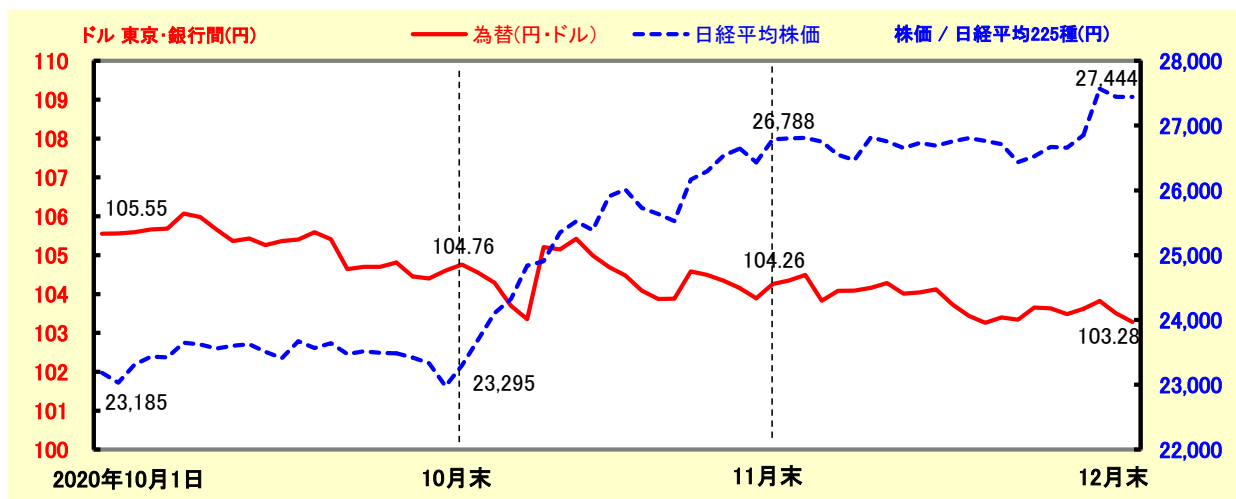
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2020年10月～12月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2020年10～12月期の業況/2021年1～3月期の業況予想

今回の調査実施時期

2020年12月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	60先
卸売業	25先	サービス業	59先
建設業	23先	不動産業	17先

調査方法

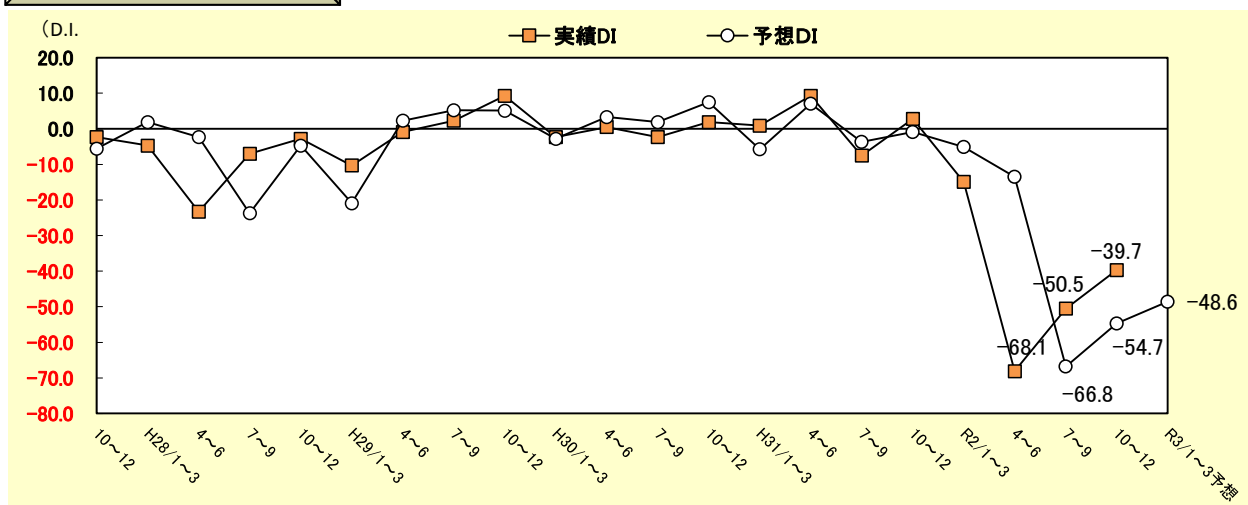
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



	10~12月期実績				1~3月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	▲39.7	▲51.1	▲34.5	▲25.0	▲48.6	▲70.0	▲35.7	▲27.5
製造業	▲38.7	▲43.7	▲60.0	▲20.0	▲64.5	▲93.7	▲80.0	▲10.0
小売業	▲38.3	▲65.3	▲15.3	▲25.0	▲48.3	▲69.2	▲26.9	▲50.0
卸売業	▲41.6	▲50.0	▲40.0	▲33.3	▲45.8	▲62.5	▲40.0	▲33.3
サービス業	▲56.6	▲53.5	▲60.7	▲50.0	▲65.0	▲82.1	▲46.4	▲75.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲13.6	▲60.0	0.0	0.0
不動産業	▲35.2	▲42.8	▲16.6	▲50.0	▲11.7	14.2	▲33.3	▲25.0

10月~12月の県内経済概況

2020年10月~12月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲39.7となり、前期比10.8ポイント上昇となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は▲38.7となり、前期比25.8ポイント上昇、小売業は▲38.3となり、前期と同水準、卸売業は▲41.6となり、前期比10.4ポイント上昇、サービス業は▲56.6となり、前期比14.5ポイント上昇、建設業は0.0となり、前期比27.2ポイント上昇、不動産業は▲35.2となり、前期比11.7ポイント下降となっています。

地域別では、別府市が▲51.1となり、前期比9.3ポイント上昇、大分地区が▲34.5となり、前期比8.8ポイント上昇、県北地区が▲25.0となり、前期比17.5ポイント上昇となっています。

業種別景況

製造業

● 当期(10月～12月)の景況

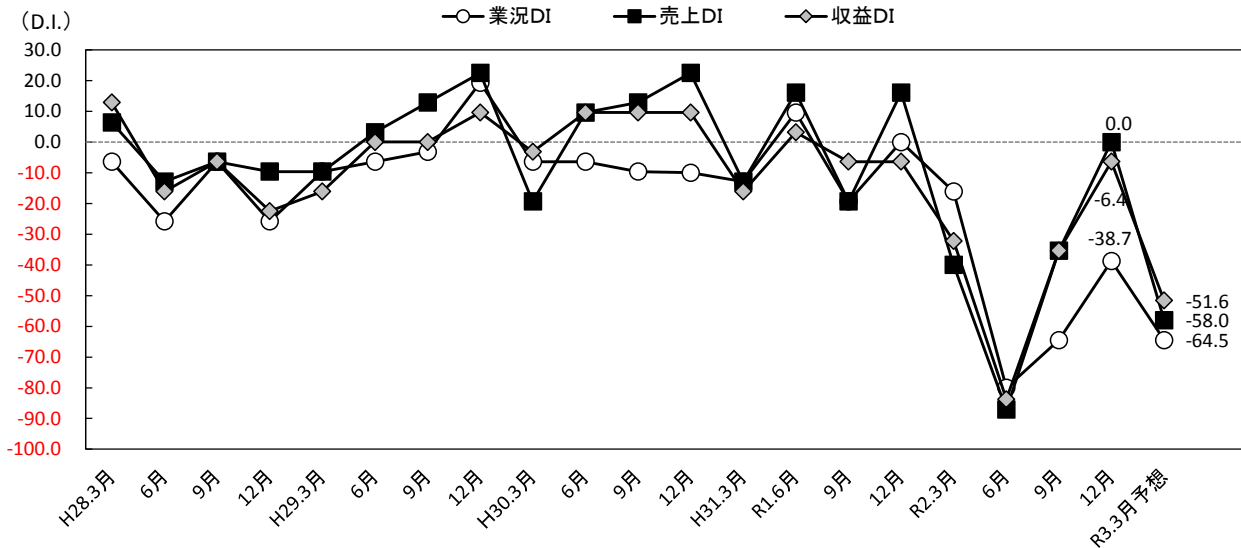
全域における業況DIは▲38.7となり、前期比25.8ポイント上昇、前年同期比38.7ポイント下降となっています。売上DIは0.0となり、前期比35.4ポイント上昇、前年同期比16.1ポイント下降となっています。収益DIは▲6.4となり、前期比29.0ポイント上昇、前年同期と同水準となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲43.7となり、前期比31.3ポイント上昇、前年同期比37.5ポイント下降、大分地区が▲60.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期比60.0ポイント下降、県北地区が▲20.0となり、前期比40.0ポイント上昇、前年同期比30.0ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲64.5となり、今期比25.8ポイント下降となっています。売上予想DIは▲58.0となり、今期比58.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲51.6となり、今期比45.2ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲93.7、大分地区が▲80.0、県北地区が▲10.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	32.8%
同業者間の競争激化	14.0%
地場産業衰退	7.8%
問題なし	6.2%
原材料高	6.2%

最重要経営施策

販路拡大	32.8%
経費節減	20.0%
新製品・技術開発	14.2%
情報力強化	10.0%
機械化推進	7.1%

経営者のみなさまの主なコメント

- ニーズの多様化により需要が落ち込んでいる。(つげ工芸製造)
- コロナウイルスの影響がまだ続いている。来年もコロナウイルスの終息が見通せない状況で売上減少が見込まれる。(竹製品製造)
- 10～12月の業況はGO TOキャンペーンもあり、コロナ禍においても例年の80%の売上だった。しかし今後は例年に比べると売上は停滞する見込み。観光に依存しない事業、収益基盤の確保をしようと新しいことにも取り組みを始めている。(ざぼん漬け製造)
- コロナウイルスの影響を大きく受けていたが、販売会等に可能な限り参加し、売上を維持している。今後コロナウイルスの影響が続けば、卸先の営業自粛も不可避になり業況もさらに悪化する見込み。(漬物製造)
- コロナの影響は落ちついた様子。(自動車部品製造)

小 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

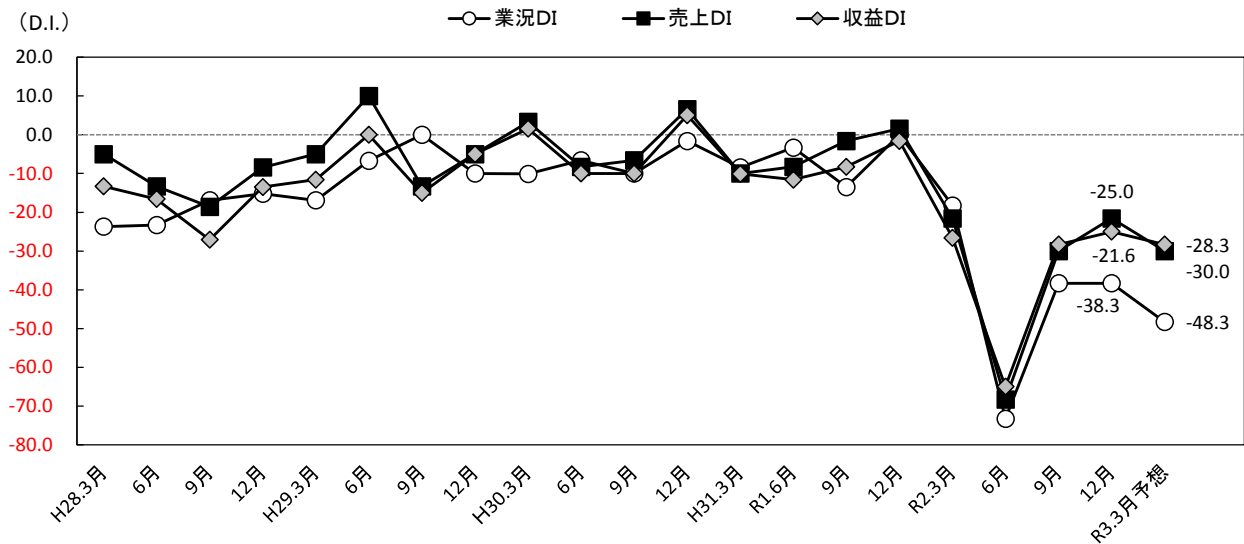
全域における業況DIは▲38.3となり、前期と同水準、前年同期比38.3ポイント下降となっています。売上DIは▲21.6となり、前期比8.4ポイント上昇、前年同期比23.2ポイント下降となっています。収益DIは▲25.0となり、前期比3.3ポイント上昇、前年同期比23.4ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲65.3となり、前期と同水準、前年同期比61.3ポイント下降、大分地区が▲15.3となり、前期比7.7ポイント上昇、前年同期比15.3ポイント下降、県北地区が▲25.0となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期比37.5ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲48.3となり、今期比10.0ポイント下降となっています。売上予想DIは▲30.0となり、今期比8.4ポイント下降となっています。収益予想DIは▲28.3となり、今期比3.3ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲69.2、大分地区が▲26.9、県北地区が▲50.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	26.8%
同業者間の競争激化	11.9%
大型店競争激化	10.4%
利幅縮小	8.2%
人手不足	8.2%

最重要経営施策

経費節減	52.1%
品揃え改善	34.7%
宣伝・広告強化	34.7%
売筋商品取扱	34.7%
人材確保	23.9%

経営者のみなさまの主なコメント

- 現在、在宅ワークが増えている影響で家電の購入・設置の売上が増加している。国からの10万円の給付金も追い風となっている。(家電製品販売)
- コロナウイルスの影響で売上減少。来年以降の売上も不安に思っている(茶葉販売)
- コロナウイルスの影響で売上が減少しており、来年度の業況も不安に感じている。資金繰りには困っていない。(飲食料品販売)
- コロナ禍においても宅食の機会が増えたことにより、急激な売り上げの低下は免れたものの今後の動向は不透明である。(洋菓子販売)
- バイクの生産ラインへの影響を危惧している。(オートバイ・二輪販売)
- 訪問販売ならびに中心市街地での展示販売会を主に行ってきたが、コロナ禍によりいずれも自粛中。売上は減少しており資金繰りは厳しい。DMや電話による受付、商品の郵送をしているがコスト面で課題も残る。(化粧品訪問販売)
- コロナの影響により配達サービスが好調である。個人顧客の獲得ができている。今後は業務効率向上により利幅の増加を目指す。(精肉類販売)

卸 売 業

● 当期(10月～12月)の景況

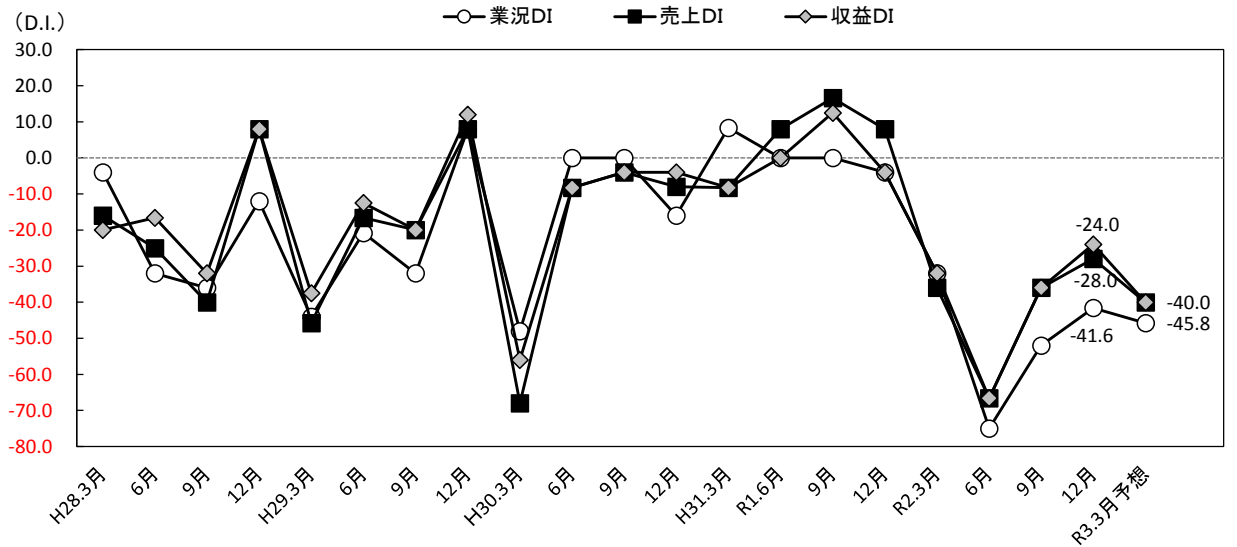
全域における業況DIは▲41.6となり、前期比10.4ポイント上昇、前年同期比37.6ポイント下降となっています。売上DIは▲28.0となり、前期比8.0ポイント上昇、前年同期比36.0ポイント下降となっています。収益DIは▲24.0となり、前期比12.0ポイント上昇、前年同期比20.0ポイント下降となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が▲50.0となり、前期比16.7ポイント下降、前年同期比27.8ポイント下降、大分地区が▲40.0となり、前期比30.0ポイント上昇、前年同期比40.0ポイント下降、県北地区が▲33.3となり、前期比16.7ポイント上昇、前年同期比49.9ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲45.8となり、今期比4.2ポイント下降となっています。売上予想DIは▲40.0となり、今期比12.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲40.0となり、今期比16.0ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲62.5、大分地区が▲40.0、県北地区が▲33.3となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	20.0%
売上停滞・減少	18.1%
利幅縮小	9.0%
天候不順	9.0%
販売商品不足	9.0%

最重要経営施策

販路拡大	28.2%
経費節減	19.5%
情報力強化	10.8%
品揃えの充実化	10.8%
特になし	10.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 新型コロナウイルスの影響で売上減少傾向。(青果物卸売)
- 昨年度と比較すると業況は減少減益となっている。現状、資金繰りに問題はない。(建築材料卸売)
- コロナの影響は特になく業況は好調。しかしこのままウィルス拡大が続けば来年はどうなるかわからない。(塗料卸売)
- 依然として売上・利益の回復は厳しい。GOTOキャンペーンによりすこし回復してきたが感染の再拡大により今後の状況は不透明である。(土産品卸売)
- 観光地場土産として卸すことが多いため新型コロナウイルスの影響を受けている。今後もコロナ感染の収束が遅れれば業況はより悪化する見込み。(竹製品卸売)
- 主な卸先である京都は新型コロナウイルスの影響を大きく受けており業況はあまり良くないとのこと。月初めはある程度の受注があるが中旬になると受注もだいぶ落ち着く傾向にある。(竹製品卸売)

サービス業

● 当期(10月～12月)の景況

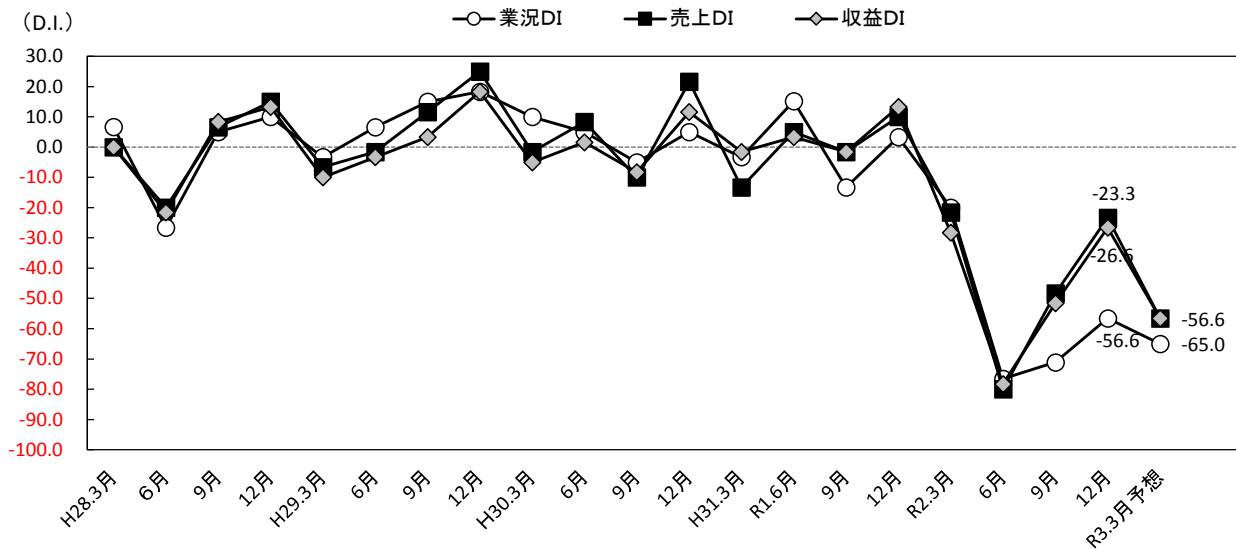
全域における業況DIは▲56.6となり、前期比14.5ポイント上昇、前年同期比59.9ポイント下降となっています。売上DIは▲23.3となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比33.3ポイント下降となっています。収益DIは▲26.6となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比39.9ポイント下降となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が▲53.5となり、前期比28.6ポイント上昇、前年同期比35.7ポイント下降、大分地区が▲60.7となり、前期比1.5ポイント下降、前年同期比89.2ポイント下降、県北地区が▲50.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲65.0となり、今期比8.4ポイント下降となっています。売上予想DIは▲56.6となり、今期比33.3ポイント下降となっています。収益予想DIは▲56.6となり、今期比30.0ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲82.1、大分地区が▲46.4、県北地区が▲75.0となっています。



経営上の問題点

売上停滞・減少	26.6%
同業者間の競争激化	13.7%
人手不足	12.9%
その他	10.4%
店舗・設備狭小・老朽化	5.6%

最重要経営施策

販路拡大	22.0%
経費節減	22.0%
宣伝・広告強化	16.1%
人材確保	9.3%
提携先探す	6.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 9月頃に政策公庫で借入を実施した。会議等が減少しているのでスーツのクリーニングが少ない。(クリーニング業)
- コロナの影響はありつつも、GOTOトラベルにより週末の客数は回復傾向にある。しかし依然として昨年比での減少は大きい。今後の資金繰りを計画的に行う必要がある。(宿泊業)
- 11月中旬まで地域のクーポン券やGOTOイートにより売上回復の見込みがあったものの、コロナの第3波により年末の売上が不安となっている。(飲食業)
- コロナウイルスにより9月まで大幅に売上が減少したが、10月からはGOTOトラベルにより取引先のホテル、旅館からの受注が前年並みに推移中である。(クリーニング業)
- 新型コロナウイルスの影響により顧客が減少している。特に県外からの顧客が多いため売上に響いている。(整体業)
- 新型コロナウイルスの影響により売上が減少。今後、収束すれば売上が見込める。(美容室)
- 政府等の各種キャンペーンにより自社や地域の業況が改善の方向に進みつつある中、コロナ第3波の影響が12月以降の業況に影を落としつつある。当社としても1月以降売上に重大な影響ありと考えている。(飲食業)
- 現状、GOTOトラベル事業の恩恵を受け、売上は前年同月比10%～20%増加している。(旅館業)
- コロナウイルスの影響で受注先(旅館・ホテル)が大きなダメージを受けており当方の業況も回復していない。(ビルメンテナンス業)

建設業

● 当期(10月～12月)の景況

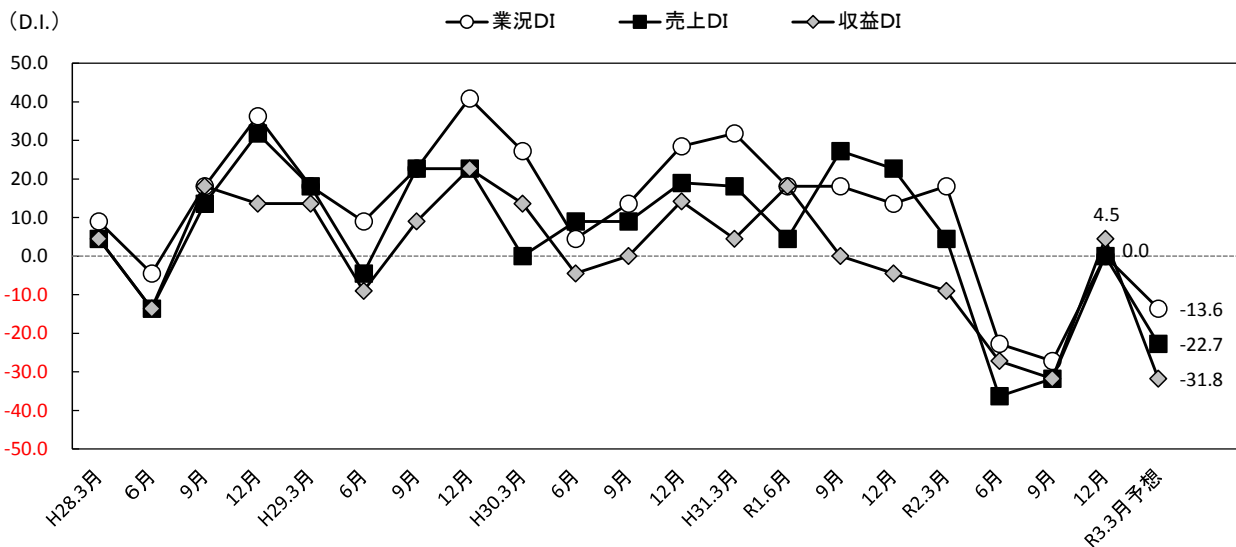
全域における業況DIは0.0となり、前期比27.2ポイント上昇、前年同期比13.6ポイント下降となっています。売上DIは0.0となり、前期比31.8ポイント上昇、前年同期比22.7ポイント下降となっています。収益DIは4.5となり、前期比36.3ポイント上昇、前年同期比9.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期と同水準、前年同期比40.0ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比33.3ポイント上昇、前年同期比22.2ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比37.5ポイント上昇、前年同期比12.5ポイント上昇となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲13.6となり、今期比13.6ポイント下降となっています。売上予想DIは▲22.7となり、今期比22.7ポイント下降となっています。収益予想DIは▲31.8となり、今期比36.3ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲60.0、大分地区が0.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	28.5%
人手不足	16.3%
利幅縮小	14.2%
売上停滞・減少	10.2%
大手企業との競争激化	8.1%

最重要経営施策

人材確保	22.6%
情報力強化	22.6%
経費節減	18.8%
販路拡大	16.9%
技術力向上	7.5%

経営者のみなさまの主なコメント

- 新型コロナウイルスの影響により、いくつかの工事が遅れている。感染状況を見てもまったく終息する様子がないため、今後3年間は最低でもこのような状況が続くと考えている。(一般土木建築工事)
- コロナウイルスの影響により来年の受注が見通せない状況ではあるが、来年上半年までの受注は確保できている。来年下半年の受注確保のため営業努力をしている。(総合建設業)
- 近いうちに代表者変更を計画しており、経営のノウハウや財務面の把握等を身につけるべく行動しなければならない。(公共工事)
- 新型コロナウイルスの影響で受注が延期になっている工事があるが、滞りなく工事を請け負っている状況。(建設業・不動産業)
- コロナの影響は少ない。(屋根工事)

不動産業

● 当期(10月～12月)の景況

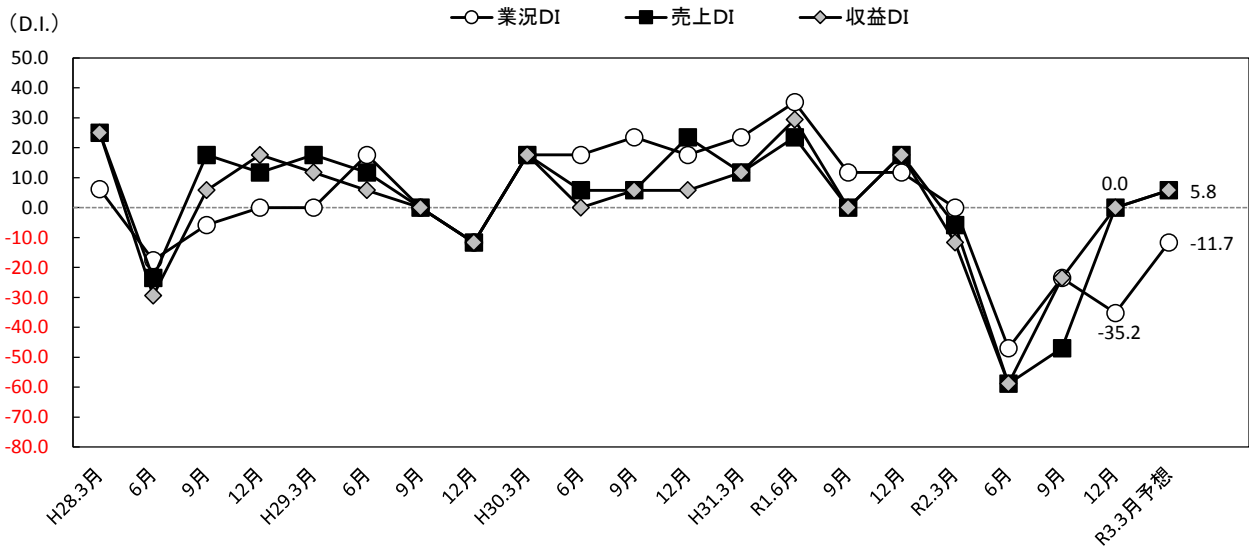
全域における業況DIは▲35.2となり、前期比11.7ポイント下降、前年同期比46.9ポイント下降となっています。売上DIは0.0となり、前期比47.0ポイント上昇、前年同期比17.6ポイント下降となっています。収益DIは0.0となり、前期比23.5ポイント上昇、前年同期比17.6ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲42.8となり、前期比42.8ポイント下降、前年同期比57.0ポイント下降、大分地区が▲16.6となり、前期比16.7ポイント上昇、前年同期比49.9ポイント下降、県北地区が▲50.0となり、前期と同水準、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(1月～3月)の見通し

全域における業況予想DIは▲11.7となり、今期比23.5ポイント上昇となっています。売上予想DIは5.8となり、今期比5.8ポイント上昇となっています。収益予想DIは5.8となり、今期比5.8ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が14.2、大分地区が▲33.3、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	30.3%
売上停滞・減少	18.1%
利幅縮小	12.1%
大手企業との競争激化	9.0%
商品物件不足	6.0%

最重要経営施策

情報力強化	27.0%
宣伝・広告強化	27.0%
販路拡大	16.2%
経費節減	10.8%
不動産の有効活用	10.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 物件価格の高騰が続いている。(不動産業)
- 仲介物件については別府市内全般に絶対数が不足している。(不動産業)
- コロナ禍の影響に問題はなく前年度並みの業況を維持している。前代表者死亡により代表者が交代した。円滑な業務移譲が課題。(不動産業)
- 現状在庫物件が不足している。情報力を強化し、仕入先物件を選定していく。(不動産業)
- コロナの影響により不動産業界全体の動きが鈍化している。特に空きテナントの利用見込が非常に少ない状況である。(不動産業)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	△ 39.7	△ 38.7	△ 38.3	△ 41.6	△ 56.6	0.0	△ 35.2
	1月～3月予想	△ 48.6	△ 64.5	△ 48.3	△ 45.8	△ 65.0	△ 13.6	△ 11.7
売 上	10月～12月実績	△ 15.8	0.0	△ 21.6	△ 28.0	△ 23.3	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 39.1	△ 58.0	△ 30.0	△ 40.0	△ 56.6	△ 22.7	5.8
受注残	10月～12月実績	△ 5.7	△ 16.1	***	***	***	9.0	***
	1月～3月予想	△ 32.1	△ 41.9	***	***	***	△ 18.1	***
施工高	10月～12月実績	9.1	***	***	***	***	9.0	***
	1月～3月予想	△ 22.7	***	***	***	***	△ 22.7	***
収 益	10月～12月実績	△ 17.8	△ 6.4	△ 25.0	△ 24.0	△ 26.6	4.5	0.0
	1月～3月予想	△ 38.6	△ 51.6	△ 28.3	△ 40.0	△ 56.6	△ 31.8	5.8
販売価格	10月～12月実績	0.0	6.4	1.6	△ 8.0	3.3	△ 9.0	△ 5.8
	1月～3月予想	△ 2.0	0.0	5.0	0.0	△ 11.1	△ 4.5	△ 5.8
仕入価格	10月～12月実績	9.8	9.6	13.3	4.0	3.3	27.2	5.8
	1月～3月予想	7.4	6.4	13.3	4.0	3.3	18.1	△ 5.8
在庫	10月～12月実績	1.9	6.4	0.0	8.0	***	0.0	△ 5.8
	1月～3月予想	△ 1.9	6.4	△ 3.3	0.0	***	△ 4.5	△ 11.7
資金繰り	10月～12月実績	△ 16.3	△ 12.9	△ 21.6	△ 4.0	△ 28.3	4.5	△ 5.8
	1月～3月予想	△ 17.3	△ 19.3	△ 22.0	△ 8.0	△ 33.3	9.0	11.7
残業時間	10月～12月実績	△ 6.5	△ 22.5	△ 8.3	12.0	△ 8.3	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 12.1	△ 22.5	△ 10.0	8.0	△ 18.3	△ 13.6	△ 5.8
人手状況	10月～12月実績	△ 10.7	12.9	△ 15.0	△ 16.0	△ 11.6	△ 22.7	△ 11.7
	1月～3月予想	△ 10.7	12.9	△ 16.6	△ 12.0	△ 8.3	△ 31.8	△ 11.7

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	10月～12月実績	△ 51.1	△ 43.7	△ 65.3	△ 50.0	△ 53.5	0.0	△ 42.8
	1月～3月予想	△ 70.0	△ 93.7	△ 69.2	△ 62.5	△ 82.1	△ 60.0	14.2
売 上	10月～12月実績	△ 18.7	△ 25.0	△ 30.7	△ 22.2	△ 10.7	20.0	△ 14.2
	1月～3月予想	△ 56.0	△ 100.0	△ 42.3	△ 44.4	△ 71.4	△ 40.0	28.5
受注残	10月～12月実績	△ 28.6	△ 37.5	***	***	***	0.0	***
	1月～3月予想	△ 61.9	△ 75.0	***	***	***	△ 20.0	***
施工高	10月～12月実績	20.0	***	***	***	***	20.0	***
	1月～3月予想	△ 20.0	***	***	***	***	△ 20.0	***
収 益	10月～12月実績	△ 22.0	△ 25.0	△ 34.6	△ 22.2	△ 17.8	20.0	△ 14.2
	1月～3月予想	△ 51.6	△ 87.5	△ 38.4	△ 44.4	△ 71.4	△ 20.0	28.5
販売価格	10月～12月実績	7.7	12.5	3.8	0.0	14.2	0.0	0.0
	1月～3月予想	0.0	0.0	7.6	0.0	△ 10.7	20.0	0.0
仕入価格	10月～12月実績	6.6	6.2	15.3	0.0	3.5	0.0	0.0
	1月～3月予想	7.7	6.2	23.0	△ 11.1	3.5	0.0	0.0
在庫	10月～12月実績	△ 6.3	△ 6.2	△ 11.5	11.1	***	△ 20.0	0.0
	1月～3月予想	△ 8.1	△ 6.2	△ 12.0	0.0	***	0.0	△ 14.2
資金繰り	10月～12月実績	△ 25.3	△ 31.2	△ 34.6	0.0	△ 32.1	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 27.8	△ 43.7	△ 36.0	0.0	△ 42.8	20.0	28.5
残業時間	10月～12月実績	△ 8.8	△ 18.7	△ 15.3	11.1	△ 10.7	0.0	14.2
	1月～3月予想	△ 20.9	△ 25.0	△ 19.2	11.1	△ 28.5	△ 60.0	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 6.6	6.2	△ 11.5	△ 11.1	△ 10.7	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 2.2	12.5	△ 11.5	△ 11.1	3.5	△ 20.0	0.0

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	10月～12月実績	△ 34.5	△ 60.0	△ 15.3	△ 40.0	△ 60.7	0.0	△ 16.6
	1月～3月予想	△ 35.7	△ 80.0	△ 26.9	△ 40.0	△ 46.4	0.0	△ 33.3
売上	10月～12月実績	△ 20.2	0.0	△ 11.5	△ 30.0	△ 35.7	△ 33.3	33.3
	1月～3月予想	△ 36.9	△ 60.0	△ 26.9	△ 40.0	△ 46.4	△ 22.2	△ 33.3
受注残	10月～12月実績	△ 7.1	△ 20.0	***	***	***	0.0	***
	1月～3月予想	△ 21.4	△ 20.0	***	***	***	△ 22.2	***
施工高	10月～12月実績	△ 11.1	***	***	***	***	△ 11.1	***
	1月～3月予想	△ 33.3	***	***	***	***	△ 33.3	***
収益	10月～12月実績	△ 17.9	0.0	△ 15.3	△ 20.0	△ 35.7	△ 11.1	33.3
	1月～3月予想	△ 39.3	△ 60.0	△ 26.9	△ 40.0	△ 46.4	△ 44.4	△ 33.3
販売価格	10月～12月実績	△ 7.1	△ 20.0	△ 3.8	△ 10.0	△ 7.1	△ 11.1	0.0
	1月～3月予想	△ 5.9	△ 20.0	0.0	0.0	△ 7.1	△ 11.1	△ 16.6
仕入価格	10月～12月実績	8.3	0.0	7.6	10.0	0.0	33.3	16.6
	1月～3月予想	4.8	△ 20.0	3.8	20.0	0.0	22.2	0.0
在庫	10月～12月実績	5.3	20.0	7.6	10.0	***	0.0	△ 16.6
	1月～3月予想	△ 1.8	20.0	0.0	0.0	***	△ 11.1	△ 16.6
資金繰り	10月～12月実績	△ 13.1	△ 20.0	△ 7.6	△ 10.0	△ 28.5	11.1	0.0
	1月～3月予想	△ 14.3	△ 20.0	△ 11.5	△ 20.0	△ 28.5	22.2	0.0
残業時間	10月～12月実績	0.0	△ 20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	1月～3月予想	△ 2.6	△ 20.0	△ 3.8	10.0	△ 3.5	0.0	0.0
人手状況	10月～12月実績	△ 13.1	0.0	△ 7.6	△ 20.0	△ 10.7	△ 22.2	△ 33.3
	1月～3月予想	△ 17.9	0.0	△ 11.5	△ 10.0	△ 17.8	△ 44.4	△ 33.3

県北地区

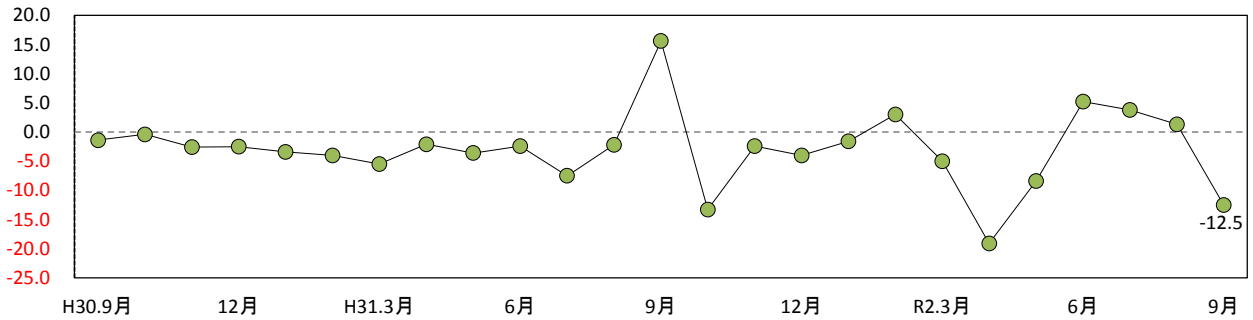
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	10月～12月実績	△ 25.0	△ 20.0	△ 25.0	△ 33.3	△ 50.0	0.0	△ 50.0
	1月～3月予想	△ 27.5	△ 10.0	△ 50.0	△ 33.3	△ 75.0	0.0	△ 25.0
売上	10月～12月実績	0.0	40.0	△ 25.0	△ 33.3	△ 25.0	25.0	△ 25.0
	1月～3月予想	△ 5.0	10.0	0.0	△ 33.3	△ 25.0	△ 12.5	25.0
受注残	10月～12月実績	22.2	20.0	***	***	***	25.0	***
	1月～3月予想	△ 5.6	0.0	***	***	***	△ 12.5	***
施工高	10月～12月実績	25.0	***	***	***	***	25.0	***
	1月～3月予想	△ 12.5	***	***	***	***	△ 12.5	***
収益	10月～12月実績	△ 7.7	20.0	△ 25.0	△ 33.3	△ 25.0	12.5	△ 33.3
	1月～3月予想	△ 7.5	10.0	0.0	△ 33.3	△ 25.0	△ 25.0	25.0
販売価格	10月～12月実績	△ 2.5	10.0	12.5	△ 16.6	0.0	△ 12.5	△ 25.0
	1月～3月予想	2.5	10.0	12.5	0.0	0.0	△ 12.5	0.0
仕入価格	10月～12月実績	20.0	20.0	25.0	0.0	25.0	37.5	0.0
	1月～3月予想	12.5	20.0	12.5	0.0	25.0	25.0	△ 25.0
在庫	10月～12月実績	11.1	20.0	12.5	0.0	***	12.5	0.0
	1月～3月予想	8.3	20.0	12.5	0.0	***	0.0	0.0
資金繰り	10月～12月実績	△ 2.5	20.0	△ 25.0	0.0	0.0	0.0	△ 25.0
	1月～3月予想	0.0	20.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 12.5	0.0
残業時間	10月～12月実績	△ 15.0	△ 30.0	△ 12.5	16.6	△ 50.0	0.0	△ 25.0
	1月～3月予想	△ 12.5	△ 20.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0	△ 25.0
人手状況	10月～12月実績	△ 15.0	30.0	△ 50.0	△ 16.6	△ 25.0	△ 37.5	0.0
	1月～3月予想	△ 15.0	20.0	△ 50.0	△ 16.6	△ 25.0	△ 25.0	0.0

県内大型小売店販売額

令和2年9月の大型小売店販売額は76億円で、前年同月比12.5%減少となっています。品目別では、衣料品が前年同月比29.5%減少、飲食料品が3.7%増加、その他の商品が27.6%減少となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前:経済産業省)

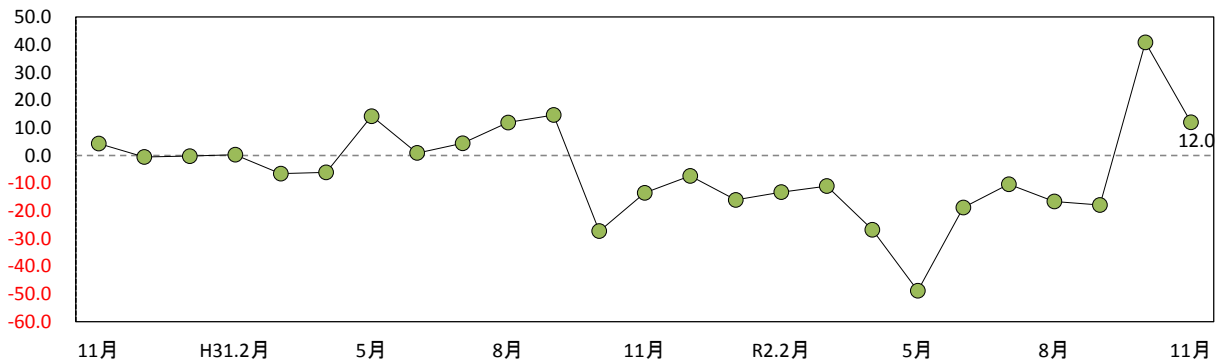


県内新車販売台数

令和2年11月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)4,326台で前年同月を12.0%上回りました。車種別では、普通乗用車が1,151台で前年同月比30.1%増加、小型乗用車が738台で前年同月比14.6%減少となりました。また、軽四輪車の合計は2,129台で前年同月比12.4%増加となりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

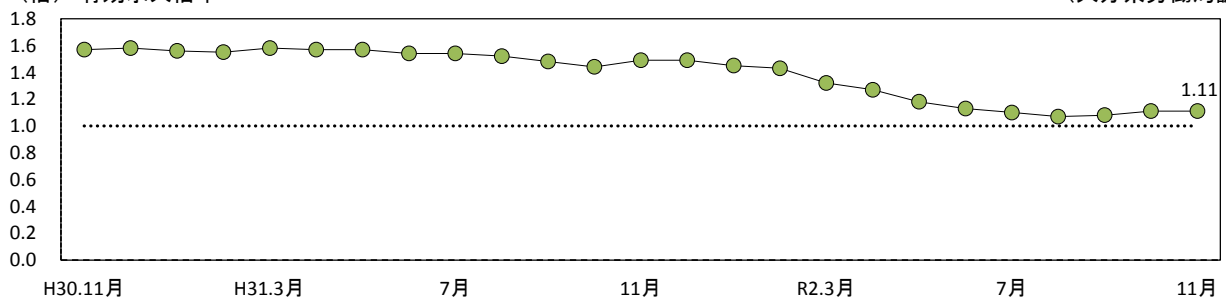


県内有効求人倍率

令和2年11月の有効求人倍率は、前月と同水準の1.11倍となりました。地域別で見ると、大分管内1.23倍(前月比+0.04ポイント)、別府管内0.81倍(前月比+0.06ポイント)、中津管内1.23倍(前月比+0.04ポイント)となっています。

(倍) 有効求人倍率

(大分県労働局調)

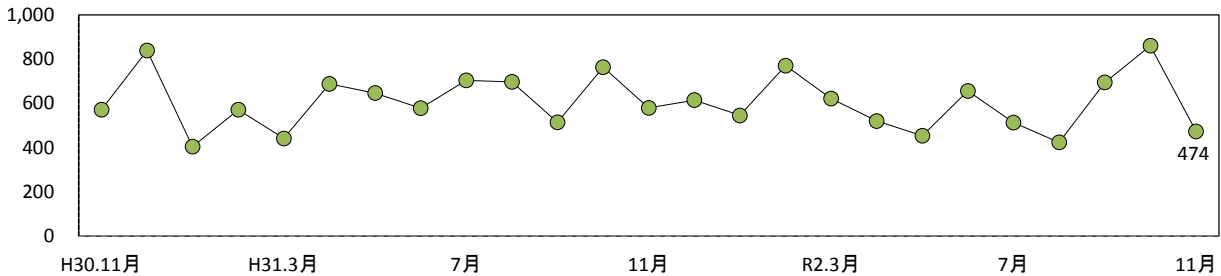


県内新設住宅着工戸数

令和2年11月の住宅着工戸数は474戸でした。そのうち、持家は233戸、貸家は153戸、分譲住宅は67戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



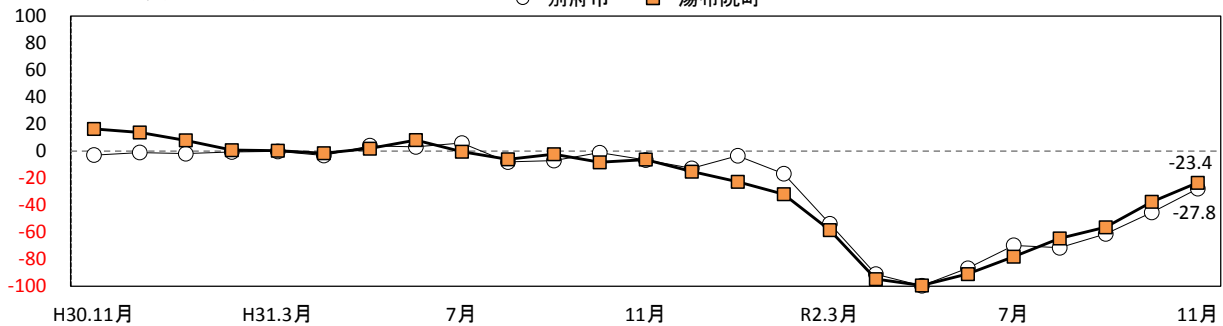
観光動向

令和2年11月の宿泊人員は、前年同月比で、別府地区27.8%減少、湯布院地区23.4%減少となっています。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○ 別府市 □ 湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

帝国データバンクの調査によると、令和2年11月の県内の企業倒産件数は6件で327百万円でした。令和2年の累計は50件5,415百万円となっています。(今回の調査より参照元を東京商工リサーチから帝国データバンクへ変更しております。)

(百万円) 企業倒産

金額

件数

帝国データバンク調 (件数)

